



(財)日本医療機能評価機構認定病院
医療法人 同信会
福岡整形外科病院 広報誌
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL

2014 autumn
Vol.36

サ・エ・ラ

Take Free 

Cà et là

サ・エ・ラはフランス語で「ここかしこ」を意味し
皆様と病院の情報提供・交換をモットーとするものです。



撮影場所：マーライオンからの眺め（シンガポール） 撮影者：患者 山本史夫様

理 念

私たちは「信」を重んじ、医療人としての職業倫理を遵守し、誠実な医療活動をおこないます。
私たちは、整形外科の専門知識と技術を研鑽し、最新、最良の医療を提供します。

基本方針

- 患者さまが個人の尊厳を尊重され、公平に安心して診療が受けられますように医療環境を整備し、常に対話を通じて病状の理解に努め、皆様にご満足いただける医療をめざします。
- 診療におけるいかなる個人情報も、秘密は守られプライバシーは厳正に保護されます。
一人ひとりの患者さまの病状を把握して、十分な説明をおこない、患者さまとともに最良の治療法を選択します。
- 病院は医療環境の安全管理を常に考え、職員の教育に努めます。
- 職員は病院の理念を十分に理解し、各自の専門技術の向上・研鑽に努力します。
- 地域医療機関との連携を密にして、整形外科の専門医療をもって地域医療の役割を分担します。

Contents

- 01 巻頭あいさつ
- 02 お知らせ
- 03 委員会活動日記／
医療安全管理研修会
- 04 防火訓練・AED操作訓練／
まちの保健室／職場体験学習
- 05-07 人工膝関節手術を受けられる方へ
- 08 院外研修実績



看護教育の目指すもの



福岡整形外科病院
看護副部長

山村 栄子

こんにちは。看護副部長に就任しまして2年目となります、山村栄子と申します。副部長就任とともに、看護部の教育担当となりました。看護師は、看護師国家資格を取得した後も、日々進歩している医療や看護についての学びを深めるための継続教育が必要です。特に新人看護師教育は、看護師1年生が専門職業人としての姿勢を学ぶ第1歩であり、力を入れています。

実際には、厚労省が提示するガイドラインをもとに、知識・技術面から社会人としての基本姿勢が習得できるようなプログラムを組み、1人前の看護師をめざします。技術についてはマニュアルを整備し、繰り返し実践することにより習得していきます。標準化の時代であり、マニュアル世代の新人看護師が安心して学ぶことができ、患者さまに安全な看護が提供できるように取り組んでいます。

看護師は、専門職としての基本姿勢を身に付けることが大切です。看護師になりたての頃は、知識・技術を身に付けることを優先する傾向にあります。もちろん技術ありきだと思いますが、看護師としての考え方をこの時期にしっかり身に付ける必要があります。看護師は患者さまの一番身近な存在です。受け持ち患者さまの思いをしっかり受け止めることが出来るような看護師教育を目指しています。

実は最近、私自身母の病気を通して患者家族の立場になりました。そこで出会った医師・看護師

は、治療について十分な説明をして下さいました。そして、迷っている母に対し、より良い方法を提示し、自らが意思決定できるように支援してくださいました。家族として安心して治療を任せられると感じたのと同時に、同じ医療者として思いを受け止めることの大切さを改めて感じさせられました。

看護の知識や技術は、看護師に求められる重要なスキルです。しかし、看護師という職業は、知識や技術に加えて、人間性も大切です。思いやりをもって患者さまに接することができること、患者さまやご家族との関わりを大切に育むこと、そして、自身の看護を振り返り、その経験知をその後の看護に生かす事が大切だと思います。

当院の看護理念は、「おもいやり・併せて向上心～生命力の消耗を最小限に…」です。この理念はナイチンゲールの精神が基になっています。ナイチンゲールは、看護覚え書きという著書の序章で、「看護とは、患者の生命力の消耗を最小限にするような環境に整え、回復を支援することである。」と述べています。

私たち看護師は、看護理念のもと、ナイチンゲール精神を忘れず、日々より良い看護を提供したいと考えています。



お知らせ

地域包括ケア病棟をご紹介します

地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟とは、入院治療により症状が改善、安定した後も経過観察やリハビリ、在宅復帰支援等が必要な患者さまが入院療養を継続し、在宅復帰へ向け「準備を整える」ことを目的とした病棟です。



■対象となる患者さま

- ①入院治療により状態は改善したが、当院にてもう少し経過観察が必要な方
- ②入院治療により病状は安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- ③在宅での生活にあたり準備が必要な方

入院日数は最大60日までです

※地域包括ケア病棟へ直接入院となるか、または一般病棟からの移動となるかは主治医が判断し、患者さまにご提案させていただきます。
※一般病棟から地域包括ケア病棟へ移動となる場合は、病室が変更となりますので、ご了解をお願いします。

病棟師長からのメッセージ

ご自宅等への退院準備をしっかりと整え、安心してお戻りいただけるように、「地域包括ケア病棟診療計画書」に基づき、在宅復帰支援を行っております。

退院を迎えるにあたり、「入浴やトイレが心配」などの生活動作への不安、「自宅には多くの段差があり、杖で歩けるか心配」などの住環境の問題、「家族だけで介護することが心配」といった介護の問題など、様々な問題が生じます。

在宅復帰をスムーズに行うために、主治医をはじめ看護師、専従のリハビリテーションスタッフ、MSW（医療ソーシャルワーカー）、その他のスタッフ間での情報の共有化や定期的な検討会を行っております。また状況に応じ、リハビリスタッフと協働して病棟での生活の場面にリハビリを取り入れていきます。あるいは住環境の問題や介護の不安等があれば、ご家族との検討やMSWと協力して社会福祉サービス等の調整を行います。一人ひとりの患者さまに合わせた支援を看護師だけではなく、全スタッフで努めております。

文責／病棟師長 上村 千枝子

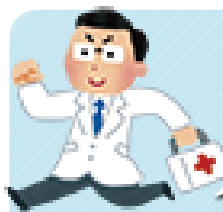
リハビリスタッフより

地域包括ケア病棟担当が個別に運動プログラムを作成し、身体機能を向上させていくことはもちろん、在宅復帰に向けて患者さまそれぞれの日常生活や余暇活動に合わせた動作練習も行なっています。また、必要に応じご自宅に伺い、手すり等の福祉用具や住環境のアドバイス等も行います。患者さま一人ひとりが笑顔で退院して頂けるよう、全力でサポートしていきますので、一緒に頑張っていきましょう。

文責／リハビリテーション科 理学療法士 仲吉 功治



▲地域包括ケア病棟スタッフ



委員会
活動日記

vol.1 衛生小委員会

／ 私たちが衛生小委員会のメンバーです! ／



衛生小委員会とは?

職員の心身の健康管理および職場における環境衛生の改善、向上について審議を行う委員会です。産業医である宮城医長のもと活動をしています。

今回は院内ラウンドの様子をご紹介します。病棟内で業務上危険な箇所がないか・整理整頓されているか等のチェックをしました。

衛生小委員会の 院内ラウンドの様子



START!

1

まずはミーティング。
みんなでチェック項目を確認します。



16:00

2

台の位置は適切か?
非常扉などの妨げ
にならないかを
チェック!!



16:10

3

疑問に思ったことは
すぐに委員長に聞
きましょう。(・∀・)



16:20

4

整理整頓されてい
るかチェック!



16:30

5

少しの振動で動き
出さないかチェック!



16:40

6

最後にチェック忘れ
がないかも再度
確認!



16:50

会議では...



/ Check! /

具体的にどこに改善点があったかを話し合
い、話がまとまり次第、各部署へ改善の要求
をします。今回の指摘箇所は、絡まっている配
線です。

秘 情報!



今回のラウンドで使用し
たチェックシートをお見せし
ます。あらゆるところを隅々
までチェックしますよ~!



PICK UP!

医療安全管理研修会

平成26年9月17日に、弾性ストッキングコンダクター研修報告をしました。当院では、人工関節置換術の術後や腰の手術において、肺血栓塞栓症(エコノミークラス症候群とも呼ばれています)予防の取り組みとして、術後2週間、弾性ストッキングを装着して頂いています。装着に伴う苦痛などがある場合は、代用として弾性包帯を使用しています。しかし、統一した巻き方が行なえていない事があり、弾性ストッキングコンダクター研修会に参加することで、正しいストッキングの履き方や弾性包帯の知識を深める事が出来ました。

報告会では、正しい包帯の巻き方などを動画で説明する事で、新しい気づきがあったのではないかと思います。今後も、患者さまが安全、安楽に過ごして頂けるよう、職員一同予防に努めていきたいと思っています。

文責/病棟看護師 渡邊 利津子



▲弾性ストッキングコンダクター研修報告の様子



PICK UP!

防火訓練・AED操作訓練

平成26年7月16日(水)、防火訓練を行いました。今回は東館1階リハビリ室を火元とし、屋外へ避難する訓練を行いました。

今回は、福岡市南消防署に立ち会って頂きました。実際に現場で活躍されている消防士の方に、当院の避難経路は適切か、職員の火災時の行動に不備はないか徹底的に見て頂きました。改善すべき点も見つかり、定期的に消防署立ち会いの下、訓練を行いたいと思います。

AED操作訓練では、「人の命を助けることができる」という意識が生まれ、AEDを使用する状況に遭遇したら、率先して命を救う手助けをしたいという気持ちになりました。今後も職員1人ひとりが日頃から防災意識を持ち、業務に取り組むようにしていきます。



◀訓練中の様子を動画撮影して頂きました。



◀AED操作訓練



▲患者搬送の様子

PICK UP!

まちの保健室

福岡県看護協会は、活動の一環として地域の方々に対し、健康管理に対してのアドバイスを行う、「まちの保健室」を行っています。場所はイオン大野城ショッピングセンターで、毎月第2土曜日の午後から開催しています。私達は8月に参加してきました。台風11号が接近していましたが、当日は60～80歳代の32名の方が来場されました。健康管理に対しての意識が高く、若者顔負けの行動的な方ばかりでした。

日本は世界一の長寿国となり、医療や福祉に関する問題を見聞する機会も多いですが、今回の活動を通して、健康で幸せな人生を送っていらっしゃる方が多いという事を知り、健康で長生きすることの尊さ・大切さを実感しました。

文責/病棟主任看護師 坂本 日昇美

当院から
2人の看護師が
参加しました!



職場体験学習

9月9日～11日の3日間、平尾中学校2年生の男女6名が「職場体験学習」にきました。地域に密着した病院事業の一環として、看護部が窓口となり毎年受け入れています。一人ひとりが人間関係を深め、働くことの素晴らしさや厳しさを身を持って実感でき、「働くとは何か」について真剣に考えるきっかけとなるような、充実した3日間を提供できるように心掛けました。

入院患者さまと話したり、医療機器に触れて実体験をしてもらったり、病院で働く他職種の役割も聞いてもらいました。職業に誇りと責任を持って働く人々に直接触れることにより、職業や進路に関わる啓発的な体験を得て、職業選択の参考になれば幸いです。とは言っても、まだまだ子どもでした。学校の勉強も頑張ってくださいね。(^^)v

文責/病棟主任看護師 坂本 日昇美

食事を運びます! /



職場体験の様子



人工膝関節手術を受けられる方へ

「よっこらしょ…アレ、なんだか痛いな。」一歩踏み出した瞬間や立ち上がる時に、膝に痛みが生じることはありませんか。それは変形性膝関節症かもしれません。「年だから仕方がない」と諦めないでください。

治療できる病気です。

治療の手順として、最初に^{Point1}レントゲンで骨の状態を確認します。MRI検査などを実施し、軟骨のすり減りや半月板の損傷を調べます。リウマチなど、ほかの病気の可能性があれば血液検査・関節液検査も行います。治療は、基本的に^{Point2}飲み薬・^{Point3}注射・^{Point3}装具等による保存療法から始めます。保存療法を続けても改善されない場合は、患者さまやご家族と相談の上、^{Point3}手術療法を行います。

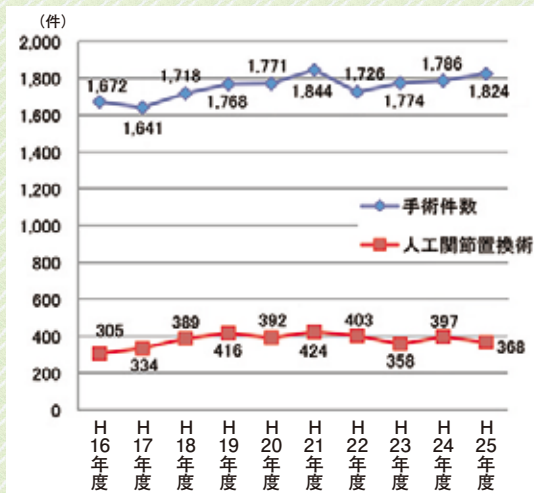
手術療法の一つに「人工膝関節置換術」があります。変性した関節を取り除き、人工関節で置き換える手術です。人工膝関節置換術には、除痛効果が早くて大きいという特徴があります。また、術後のリハビリも計画的です。

当院では、年間約400件の人工関節置換術を行っており、様々なリスクを伴う高齢の患者さまの安全管理には細心の注意を払い臨んでいます。^{Point4}専門医による周術期管理を徹底しており術前には心電図とともに、^{Point5}循環器科の医師が^{Point6}診察します。術後は血栓ができやすいということもあり、^{Point6}静脈血栓塞栓症を防止するため、検査と処置を徹底しています。

入院中は疾患・手術法別の^{Point7}クリニカルパスを用いた^{Point8}マンツーマンでの^{Point9}リハビリを行なっています。退院前に試験外泊等を組み込むことによって、自宅での不具合をソーシャルワーカーに相談することもできます。治療からリハビリ、^{Point9}今後の生活のことまで一貫して患者さまに即した対応ができることは、整形外科を専門とする当院のモットーです。

膝が痛いといきなり動くのがおっくうになり、それとともに脚の筋力が衰えてきます。買い物が面倒、旅行に行けない…など生活の幅も狭くなってしまいます。痛みを我慢したり、健康食品やご自分で調べたことだけでなんとかしようとしてはいけません。思い当たることがあれば、すぐに整形外科を受診してください。痛みがなくなればいいのではありません。スムーズに歩けることで、人生の質<Quality of Life>を保つことができるのです。

次ページへ
GO!!



掲載
されました!

◀手術数でわかる
いい病院2014

平成26年2月に朝日新聞出版の「手術数でわかるいい病院2014」に当院が掲載されました。人工関節置換術・膝関節の部門での手術数の多さでは、全国で23位(福岡県内ではトップ!)にランクインしました。



▲王寺院長

安全で安心な専門医療

Point1

ちみつ 緻密な画像診断

整形外科専門ならではの、特殊な撮影方法にこだわっております。
・単に寝た状態だけではなく、立った状態で撮影することで膝の状態をより詳しく評価し、MRI検査では軟骨、靱帯、半月板などの軟部組織をそれぞれにいいに抽出しています。



専門

Point2

安全な内服管理

入院時に現在服用中のお薬を見せていただき、患者さまのお薬の情報を的確に把握し、手術の前に中止するお薬がないか、これから処方されるお薬との相互作用はないか等をチェックします。



安全

Point3

安全な麻酔・手術

麻酔医と手術室看護師が連携して全ての患者さまに術前訪問を行なっています。
麻酔医 … 主に手術に必要な事柄の確認を行います。
手術室看護師 … 手術に必要な事柄の確認とともに手術当日の準備、手術室入室から退室までの流れを説明します。



安全

Point3

痛みのコントロール

下半身の麻酔と全身麻酔の併用を行います。手術中は全身麻酔で眠っており痛みは生じません。手術終了後に目が覚めます。

手術後の痛みに対しては、注射や坐薬、腰からの痛み止めの注射などさまざまな方法があり、看護師が何度も血圧や熱を測り、痛みや足の動きなどの状態を確認します。気になることがあれば、何でもご相談下さい。

安心

Point4

整形外科専門医によるサポート体制

当院では主治医制を用い、一貫した治療を行います。毎週木曜日にカンファレンスを実施し、一つの症例に対して医師間で意見を出し合い、最良の医療を提供します。

専門

Point5

必ず心機能チェック

人工関節手術を受けるすべての患者さまに、循環器医師による術前の心機能チェック(心電図・心臓エコー検査)を行っています。

安全

Point6 徹底した血栓予防

安全

人工関節置換術の重篤な合併症である「肺血栓塞栓症」の原因となる「深部静脈血栓」を調べる
下肢静脈エコー検査に力を入れています。

- ①手術中から手術後に長い間ベッドに寝たままになっていると、血栓(血管の中にできる血液の塊)ができやすくなります。人工関節手術を受けられる患者さま全員に、手術前にエコーにて血栓の有無を検査します。
- ②手術翌日の起立前に血栓の有無を検査し、クリアすると手術後の初回歩行となります。必要があれば、経過を追って数回エコー検査を実施し、血栓症の予防に努めています。

Point7 先に見える入院生活

安心

患者さまが安心して入院生活を送って頂けるように、入院から退院までのながれについて、クリニカルパス(標準治療計画表)を使って、説明を行っております。

病棟看護師は、治療や療養のお世話を含め、入院生活全般の相談・調整役のような関わりを致します。当院では、受け持ち看護師制を採用しており、入院中の悩みや不安・退院後の生活指導について、受け持ち看護師が中心となってサポートいたします。

Point8 マンツーマンでのリハビリ

安心

手術前…運動は主に足の筋力訓練と、足の血栓予防の運動です。

またO脚・X脚により姿勢も崩れていきますので、姿勢調整も可能な限り行い、手術に備えます。

手術後…3日目よりリハビリテーションが始まりますが、可能な限り痛みが出ないよう、また体力の回復具合に合わせて無理のない範囲で行っていきます。手術後3週ほどで1本杖にて移動できるくらいまで回復します。その後、階段の昇り降りや屋外歩行、生活活動練習などを行い、退院後、膝の負担にならず安心して生活できるよう練習していきます。

Point9 退院後もサポート

安心

パンフレットを用いてわかりやすい説明を行います。また、入院前の生活状況や住宅環境について確認し、安心して退院できるように支援を行っています。

退院後、環境によっては生活に必要な準備がいる方もいます。

〈例えば…〉・浴室、トイレや段差に手すりをつける。・シャワー用椅子や入浴補助等用具の購入。などがあります。準備するものの中には介護保険やその他の福祉制度が利用できる場合もあります。

食生活へのサポート

体重の増加は
膝に負担をかけます。

人工関節を長持ちさせるには → 体重管理



安心

が重要です。関節への負担を減らすためにも、体重コントロールを心がけましょう。

食生活のサポートが必要な方には、管理栄養士による栄養指導を行い、生活習慣改善のお手伝いをさせていただいています。

?ところで、いくらかかるの??

- ①病院の窓口で支払う額のうち、一定の金額を越えた分が戻る高額療養費制度があります。
- ②人工膝関節置換術を受けられる方は、自立支援医療(更生医療)の対象となります。更生医療を申請することにより、入院費の自己負担額を減らすことができます。
ただし、年収などの条件により自己負担額の上限が変わる場合や、制度そのものを受けられない場合があります。
詳しくは入院がお決まりの際に受付で説明いたします。



院 外 研 修 実 績

平成26年7月～平成26年9月

～ 講演・学会発表・研修会参加実績等 ～

※ 医師については学会発表・講演のみの掲載にしており、学会参加の掲載は省略しています。

■ 医局

日 付	学 会 名	演 者	演 題	場 所
7.4～6	第8回Asian Pacific Orthopaedic Symposium	真鍋 尚至	Total knee arthroplasty after high tibial osteotomy	シンガポール
7.24～26	第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	徳永 真巳	脛骨コンポーネント設置と術後脛骨機能軸の検討	広島
7.24～26	第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	吉本 栄治	膝前十字靭帯解剖学的二重束再建における大腿骨骨孔位置の検討	広島
7.24～26	第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	松田 秀策	片側仮骨延長法における内側側副靭帯長の変化	広島
7.24～26	第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	碓 博哉	ジョギングにより生じた足関節外果疲労骨折の1例	広島
7.24～26	第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	上杉 勇貴	変形性膝関節症における大腿骨内側顆および後顆部骨棘についての検討	広島
8.22	筑後臨床整形外科医会	王寺 享弘	膝半月板損傷の現状と問題点	久留米
9.6	第16回日仏整形外科学会	松田 匡弘	70歳以上高齢者のアキレス腱断裂に対する治療経験	福岡
9.6	ZUK 10 th Anniversary Seminar	王寺 享弘	UKA with sports activities	東京
9.24～27	第27回 Annual ISTA Congress	吉本 栄治	Clinical Results of Unicompartmental Knee Arthroplasty in Anterior Cruciate Ligament Deficient Knees	京都
9.24～27	第27回 Annual ISTA Congress	松田 秀策	Total Knee Arthroplasty in Patients with Genu Recurvatum	京都

■ 放射線科

日 付	学 会 名	演 者	演 題
8.8	第19回症例勉強会 ～骨・関節領域～	釘宮 慎次郎	拇指CM関節撮影
		川崎 久充	肩関節Y-view撮影
		辻 英雄	足関節(特に前距腓靭帯)撮影
8.10	診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」	釘宮 慎次郎	整形外科領域
8.22	第91回MR研究会	香月 伸介	MRI検査における肩・膝関節へのアプローチ
9.18～20	第42回日本磁気共鳴医学会大会	辻 英雄	2D画像におけるMPRの可能性 ～特に靭帯の描出について～
9.19～21	第30回日本放射線技師総合学術大会	釘宮 慎次郎	当院における腰椎臥位撮影の意義について
			X線撮影における診断の一助となる画像描出の考え方

■ 看護部

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.1	看護に活かすフィジカルアセスメント	2名
7.4	看護研究II	5名
7.17	知っておきたい心電図の基本	2名
7.23	ナースのためのメンタルヘルス	4名
7.28	フィジカルアセスメントI	2名
7.29～9.9	スキルアップ看護研究(5日間) 看護研究I・II受講し福岡県看護学会発表予定者	1名
7.30	労働基準法の基礎知識	3名
7.31	正しい知識で感染を防ごう!	5名
8.1	災害看護を知ろう!!	3名
8.21	チーム力に活かすファシリテーション	1名
8.27	夜勤・交代勤務ガイドライン勤務編成の基準	1名
9.9	チーム力に活かすファシリテーション技術	1名
9.15～9.19	スキルアップ看護管理者(5日間)	1名
9.17	社会福祉委員会企画研修	2名
9.17	新人のための安全な移動・移乗の技術	2名
9.27	看護職の継続教育を支援する	2名

■ 臨床検査科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.12	インфекションコントロール研修会	1名
8.5	ICT交流会	1名
8.23	日赤輸血シンポジウム in九州	2名
9.13	臨床検査セミナー 2014	1名

■ 医事課・MSW・総務課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
9.21	福岡県医療ソーシャルワーカー協会 アドバンス研修	1名

■ 栄養課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.28	福岡市給食施設従事者研修会	1名
9.18	福岡市給食施設従事者研修会	1名
8.9	病態栄養実践講座	1名
9.23	福岡県栄養士大会・福岡県栄養改善学会	1名

■ リハビリテーション科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.11	九州沖縄運動器徒手療法勉強会	4名
7.12	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名
7.20	第6回ハンドセラピー研修会	3名
7.27	九州沖縄運動器徒手療法講習会「脊柱変形・腰椎の評価と治療」	2名
8.2	保健医療科学研究会「肘・手関節外傷に対する運動療法と触診」	3名
8.3	保健医療科学研究会「変形性股関節症とTHA後の運動療法と触診」	14名
8.9	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名
9.13	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名
9.19	九州沖縄運動器徒手療法勉強会	6名
9.20	膝のスポーツ傷害とその診かた ～動作解析の観点より～ ACL損傷を中心に	2名
9.28	海外における足部の考え方と治療の実際	5名

■ 薬局

日 付	研 修 会 名 等	参加者
8.5	ICT交流会	1名



外来診察担当医一覧表

受付時間							
曜日	午前(8:30~11:30) ※診察開始 9:00~						午後(13:30~16:00) ※診察開始 14:00~
月	王寺 享弘	宮城 哲	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	松田 匡弘	——
火	王寺 享弘	徳永 真巳※	宮城 哲	真鍋 尚至	松田 匡弘	松原 弘和	徳永 真巳※
水	吉本 隆昌※	徳永 真巳※	碓 博哉	真鍋 尚至	松原 弘和	玉井 貴之	——
木	吉本 隆昌※	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	玉井 貴之	—	吉本 隆昌※・吉本 栄治※
金	王寺 享弘	宮城 哲	松田 秀策	真鍋 尚至	松田 匡弘	松原 弘和	香月 正昭※・玉井 貴之※
土	交替であたります(土曜の受付は11:00で終了致します。初診のみの対応です。)						——

※印の医師の診療につきましては、予約を行っております。医事課予約係までお電話ください。
予約受付時間／月曜～金曜 9:00～17:00

※これは平成26年11月1日現在のものであり、都合により変更になる場合もあります。また、学会・出張等により、休診になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
※火・木・金曜日の午後の診療は(再診のみの完全予約制)となります。



- バス**
- 天神(福ビル前or協和ビル前)より 51番
 - 天神(大丸前)より 151番
 - 博多駅(バス停A)より 50番

- 博多駅(郵便局前バス停B)より 65番
- 博多駅(郵便局前バス停C・D)より 64・67番
- ▼
- 野間四つ角で乗換え
- 50・51・151・区1番

- 西鉄大牟田線**
- 高宮駅下車
- ▼
- バスに乗換え
- 50番 51番

降車バス停
血山1丁目

医療法人 同信会
福岡整形外科病院
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL



〒815-0063 福岡市南区柳河内2丁目10-50
TEL 092-512-1581 FAX 092-553-1038
<http://www.fukuokaseikei.com/>

【面会時間】 平日・土曜 / 13:00~20:00
日曜・祝祭日 / 10:00~20:00
【休診日】 日曜・祝祭日 【病床数】 175床

広報委員会からのお知らせ

広報委員会では広報誌の表紙を飾る写真や絵を随時募集しております。また、広報誌に関するご意見ご感想もお待ちしておりますので、総務課までお寄せください。



Avispa
FUKUOKA

福岡整形外科病院はチームドクターとして『アビスパ福岡』をサポートしています。
頑張れアビスパ！！